

# 3月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年3月末現在〕

令和2年4月10日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで悪化した。

製造業・非製造業ともに「景況」「売上高」「収益状況」全てで悪化した。前月に続いて、幅広い業界で新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。

## 景況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-57.7ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の-75.0ポイント、全体では、前月比16.0ポイント悪化の-66.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比15.3ポイント悪化の-61.5ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント悪化の-58.3ポイント、全体では、前月比12.0ポイント悪化の-60.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比23.1ポイント悪化の-65.4ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント悪化の-45.8ポイント、全体では、前月比16.0ポイント悪化の-56.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	政府による全国一斉休校要請により、県内全体で休校になり学校給食を主としている我が組合は大打撃だ。資金繰りに苦慮している組合員も多く、融資の拡充等の中小企業向けの支援策が出ているが今後が非常に不安である。4月からの新年度より学校が再開すると言われているが、このまま再開を願うばかりだ。
	餡	
	味噌	
	酒	○県内全体の清酒課税移出数量・業界全体の現状 当県2月の清酒課税移出数量は、昨年10月1日の消費税増税後から減少が続き、清酒全体で対前年同月比95.3%と大幅に減少となった。本格焼酎については、対前年同月比84.9%と大幅に減少した。但し、高級清酒である吟醸酒は対前年同月比105%と増加した。しかし、普通酒は対前年同月比91.9%と大幅に減少し、種類によって消費量に差が生じた。清酒の輸出については、従来大口の輸出先であった韓国、中国（香港）の落ち込みが大きく、令和2年2月の輸出数量は対前年同月比70%と大幅に減少した。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスの感染拡大により、3月から4月のイベントが中止や延期になる一方で、酒席の自粛も恒常化しており各酒蔵は販売が低迷し在庫が増加している。当酒造業界においては、新酒が出回り売上増加期に入るが、新型コロナウイルスの感染拡大により売上が低迷し、経営上重大な影響が出てきている。
	納豆	新型コロナウイルスの影響により土産品の売上は大変厳しい状況で、前年同月の約10～50%程度となっている。ただ、スーパー関係の売れ行きはとてよく前年同月比で110～120%程度となっている。新型コロナウイルスの影響により観光客が大幅に減少し、観光に関係する業種は全体的に悪化。
	菓子	新型コロナウイルスによる緊急事態発令。茨城県もそれに準ずる。人の移動が制限されるなかで店舗も入店客数減少。イベントが中止となり売上減少となる。
繊維工業	織物	新型コロナウイルスの影響でイベント・販売会等が中止となり今後影響が生じてくるとされる。団体客の見学・体験等のキャンセルが出てきている。
	袋物	新型コロナウイルスの影響が始め、各社とも売上・収益は悪化してきている。4月以降も先が見えない状態である。
	衣服	
木材・木製品	製材	・構造材、羽柄材とも全体的に安定している。 ・原木の価格については比較的安定している。 ・プレカット工場の稼働状況は停滞な動きとなった。 ・輸入材は大手製材メーカーのストライキが解消されたが、働き手の不足問題もあり通常のペースに戻るのには時間がかかりそうである。なお、新型コロナウイルスの影響も出ている。 ・建材関係では、新型コロナウイルスの影響で資材調達の遅れが出ている。
	県北地区プレカット	新型コロナウイルスの影響が始め、売上高は前年同月比2割減少。先の見通しが全く分からない。
	県央地区プレカット	前半に加工が少なく、後半に加工が集中してしまい生産効率の悪い月であった。 ・新型コロナウイルスの影響により着工を延期する物件も出てきている。 ・衛生、健康管理を徹底して従業員から感染者が出ないように気を付けたい。
紙・紙加工品	段ボール	大企業と我々中小企業（組合員）では大きな差が出始めている。大企業は大手の食品メーカー・アマゾン・楽天等の通販を利用して顧客を確保しており、この分野では売上高は1～2割増加しており業績はいい。しかし、我々中小企業は自動車関連や重工業系の顧客が多く、今回の新型コロナウイルスの影響を大きく受け、売上は前年同月比数%から20%減少している。
印刷	総合	新型コロナウイルスの感染拡大により、各種イベントが中止。それに伴い関連印刷物のキャンセルが相次いでいる。ツアー業界では5月のゴールデンウィーク辺りまでの催行中止が多く、それによるパンフレット類の印刷物は受注減少。これはほんの一例であり、全体的に動きが鈍くなっていき経済活動が停滞となると経営上の影響は大きい。
化学・ゴム	自動車部品	新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明。
窯業・土石製品	県央地区石材	
	県西地区石材	
	コンクリート製品	
	焼物	2月より新型コロナウイルスの影響が国内でも出始め、3月に入るとイベントが自粛になったことで経済活動に大きく影響が生じている。なんとか早く終息することを願っている。
	生コンクリート	

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	鉄鋼・金属	鍍金	昨年度末に比べ、売上高は15～20%程度悪化。受注は中国からの部品供給が滞り、10～20%程度売上が減少している得意先が出てきた。今まで比較的好調であった建築関連についても輸入部品の滞りで影響が出てきた。金属材料(銅、ニッケル、亜鉛等)は下降傾向で推移。貴金属関係の材料については価格が上昇している。工業薬品等については価格は落ち着いている。
	一般機器	精密機器	新型コロナウイルスの影響は現時点では出ていないが、来月以降は確実に出てくるものと予想される。
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比95%であった。得意先は受注減少と海外部品の調達遅延から操業度を低下させている。その影響で全組合員の売上が減少した。今後、得意先の一層の減産が予想され、各組合員の景況悪化が見込まれる。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	売上高は一定のライン(平年並み)を保っているものの、取引条件や収益状況は悪化傾向にある。また、新型コロナウイルスの影響と思われる部品供給面での不安がある。
		輸送車両	
その他の製造業			
卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比0.13%増加。新型コロナウイルスの影響でスーパー等量販店の売上が伸びたため多少増加したものの、仲卸業者・買受人共に販売に苦慮している。宴会場等を運営している買受人はキャンセルが相次ぎ、営業自体が厳しい状況である。	
	県南地区卸	新型コロナウイルスの影響により業種によって異なるが売上高は全体的に見て前年同月比10～15%減少した。	
	食品卸売業	野菜・果実合計で前年同月比101%の取扱高となった。新型コロナウイルスの影響により外食需要が減少したこともあり外食産業への納品を主とした組合員の取扱高が減少。また、小中高の一斉休校により学校給食への納品もなくなったため、それらをメインとした組合員には大きな打撃となった。これらの厳しい状況に対し、スーパー等の量販店では、いわゆる「巣ごもり需要」によって売上を伸ばした。総合的に見れば取扱高の変化は少なかったが、体力の少ない小売店では影響が大きく、これを機に店をたたむというケースも増えてくるのではないかと懸念される。	
	セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約2%の微減。過去連続年率10%前後の減少が続いているため、今後は下げ留まりにも期待していきたい。	
非製造業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比92.6%、客数は同97.5%となった。新型コロナウイルスの自粛が影響したものの健闘した。このまま継続したい。	
	県央地区共同店舗	営業時間短縮(30分～2時間)、賃料値下げ要請の店舗もあり、例年3月は卒業や入学準備で忙しいところすべて縮小やキャンセルで売上減少。マスクが手に入らないため、小間物屋に朝行列ができています。ゴム等も徐々に入荷してこなくなっている。婦人服が全く売上をとることができず、危機的状況。5月以降の見通しがつかない。	
	県南地区共同店舗	新型コロナウイルスの影響が日を迫うごとに表れ、特に後半は大苦戦となった。サービス業種に関しては最悪で前年同月比25%以下の店舗もあった。イベント・催事も全て中止となり、集客面でも大苦戦となった。売上は前年同月比で、衣料53.1%、文化品47.6%、食料品79.4%、飲食90.5%、サービス76.8%、全体78.3%となった。	
	クレジット	新型コロナウイルスの影響により売上・収益減少。	
	小売業	家電	年度末は例年売上拡大が見込まれるが、新型コロナウイルスの影響により大幅に減少。売上拡大を図るための訪問活動での見込み客づくりもできず八方塞がりな状況。
		石油	原油産油国の増産及び新型コロナウイルスの影響により原油価格が暴落し、ガソリンの販売価格は2月初めと3月末を比較すると15円の下落となった。経営環境は特に観光関連業の需要が落ち込んでおり、依然として厳しい状況が続いている。
		農機具	
		中古自動車	売上高は前年同月比87.7%、販売台数は同83.1%、販売価格は同105.5%であった。前年同月比で販売単価は上昇したものの、販売台数が大きく減少したことにより、売上高も大幅に減少した。
飲食品	新型コロナウイルスの影響が大きく出てきている。当組合員はスーパーでの食品全般の取扱のため、売上は顧客の備蓄品の需要拡大により好調。メーカーからの供給が少し切迫しつつあり、カップ麺・レトルト食品・菓子・チルド関連商品において影響が出ている。茨城は非常事態宣言は出ていないが、今後も相当な影響が出てくるのはやむを得ない状況で注視が必要。		

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	水戸	新型コロナウイルスの影響により売上高減少。それに伴い、パート・アルバイトの勤務時間を短縮している。
	筑西	組合員のホテルでは送別会が100%キャンセルのため、売上高は前年同月比8割減。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が91.3%、軽自動車が98.6%となり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
	ホテル・旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高：宿泊は最大で前年同月比9割減、平均して5~6割減少。宴会・飲食に関しては、最大で10割減、平均して8~9割減少。</li> <li>・販売価格：ビジネス系施設と観光系施設では価格設定の仕方に相違があるが、今回は宿泊客の激減により壊滅的な価格となっている地域もある。</li> <li>・収益状況：減収減益</li> <li>・資金繰り：日本政策金融公庫等の融資策はあれど収益が見込めない。現在は返済力がないため給付型の支援措置を創設してほしい。</li> <li>・雇用人員：経営母体の大きな施設は、人員数の変動は少ないものの徐々に減らしている傾向にある。他に出勤日数や労働時間の短縮で調整している。</li> <li>・業界の景況：県内各エリアのイベント中止、歓送迎会のキャンセル、首都圏からの顧客、インバウンド(団体)の激減など、県内外での流入がない現況。4・5月はさらに先が見えない逼迫した状況に陥っている。</li> </ul>
建設業	総合	年度末の工事に向けて各社繁忙である。来期の工事発注が少ないため次月からの工事発注に向け競争が激しくなるが、例年とは違い新型コロナウイルスの影響が不透明なため先行きの予想が難しい。特殊な次年度の経営計画を策定しなければならない。
	電気工事	
	管工事	
	交通安全施設	
	鉄筋工事業	
運輸業	貨物軽自動車運送	当月の組合員数は116名、車輛台数は146台で前月と比較して3名減少、3台減少となった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,792名、車輛台数は9,236台で前月と比較して38名減少、49台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向については、出荷物量はやや低調となり、売上高も減少した。燃料価格は新型コロナウイルスの影響により少し安くなったが、収益は依然厳しい。今後の影響拡大が不安である。
その他の非製造業		

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	学校給食におけるパンの回数増要望
	酒	31年度の需要振興策として、地元(県内)消費に繋がる県内蔵元と連携した施策を要請。
	納豆	新型コロナウイルスの見通しが分からないため中小企業の観光業種は先行きが非常に悪化し、いつまで営業できるか心配です。早急な収束と観光客誘致の対策を急務にしてもらいたいです。
化学・ゴム	自動車部品	早く補助金を出してほしい。
鉄鋼・金属	鍍金	景気の悪化により資金繰りが困難な企業が出てきている。緊急融資並びに助成金等の早期の実現が望まれる。
輸送機器	輸送車両	新型コロナウイルス対策を含めた諸情報の迅速な提供と中小企業の安定に質するための緊急かつ簡易な助成措置の継続的実施。
小売業	県央地区共同店舗	高度化資金の返済猶予をお願いします。新型コロナウイルスの経済危機を回復できるまで。
	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	次年度の工事の早期発注・平準化をお願いしたい。

月次景況調査 3月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比	3月	2月	前月比
景 況	▲ 66.0	▲ 50.0	▲ 16.0	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 7.7	▲ 75.0	▲ 50.0	▲ 25.0
売 上 高	▲ 60.0	▲ 48.0	▲ 12.0	▲ 61.5	▲ 46.2	▲ 15.3	▲ 58.3	▲ 50.0	▲ 8.3
収 益 状 況	▲ 56.0	▲ 40.0	▲ 16.0	▲ 65.4	▲ 42.3	▲ 23.1	▲ 45.8	▲ 37.5	▲ 8.3
販 売 価 格	0.0	2.0	▲ 2.0	▲ 3.8	3.8	▲ 7.6	4.2	0.0	4.2
取 引 条 件	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5

# 中小企業月次景況調査(令和2年3月)DI値(前年同月比)

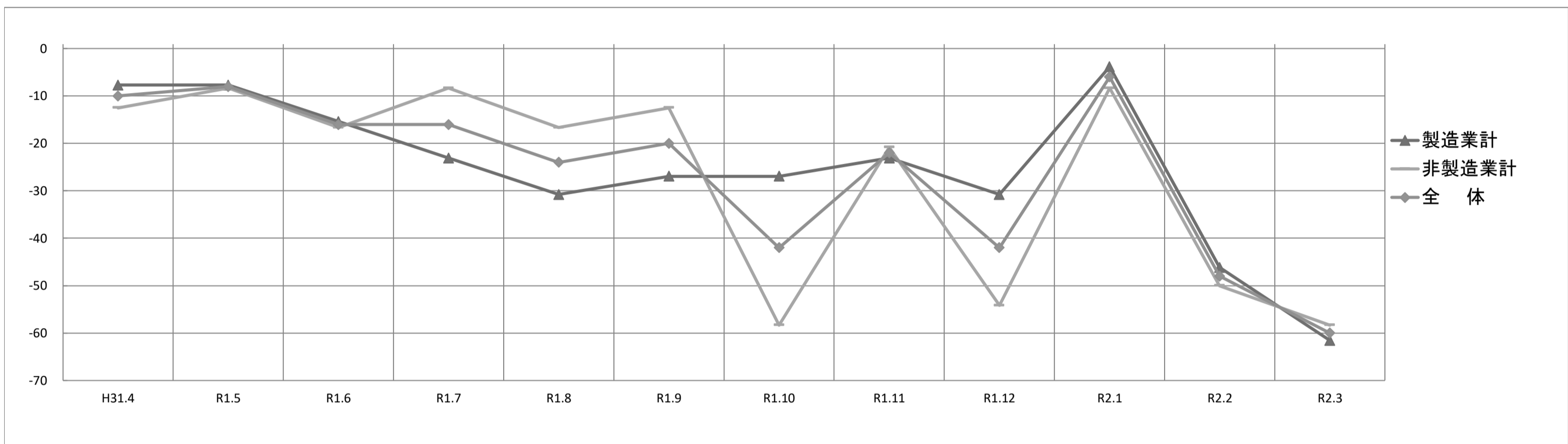
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	0	2	4	6	16.7	2	3	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 66.7	0	2	4	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	1	1	3	5	20.0	1	4	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	1	2	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2
製造業計	△ 61.5	1	8	17	26	△ 3.8	4	17	5	26	△ 3.8	2	21	3	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 65.4	0	9	17	26	△ 46.2	0	14	12	26	△ 42.3	1	13	12	26	△ 30.8	0	18	8	26	△ 57.7	0	11	15	26	
非製造業	卸売業	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4					0.0	0	4	0	4	△ 75.0	0	1	3	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 63.6	2	0	9	11	36.4	4	7	0	11	0.0	1	9	1	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 63.6	0	4	7	11	△ 63.6	0	4	7	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 90.9	0	1	10	11	
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2					0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	非製造業計	△ 58.3	2	6	16	24	20.0	4	10	1	15	4.2	4	17	3	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 45.8	1	11	12	24	△ 41.7	0	14	10	24					△ 12.5	0	21	3	24	△ 75.0	0	6	18	24	
全体	△ 60.0	3	14	33	50	4.9	8	27	6	41	0.0	6	38	6	50	△ 22.0	0	39	11	50	△ 56.0	1	20	29	50	△ 44.0	0	28	22	50	△ 42.3	1	13	12	26	△ 22.0	0	39	11	50	△ 66.0	0	17	33	50	

## D I 値推移表 (H31.4月 ~ R2.3月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	5.0	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5
卸売業	25.0	▲ 50.0	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6
サービス業	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3
全体	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0

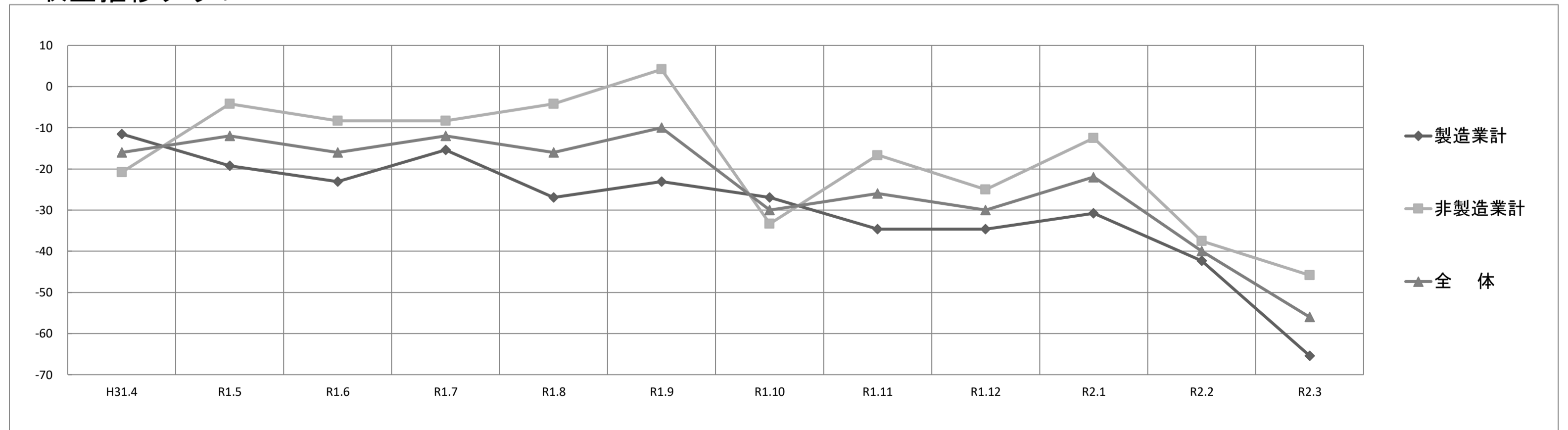
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4
卸売業	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6
サービス業	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0
建設業	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8
全体	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0

### 《収益推移グラフ》

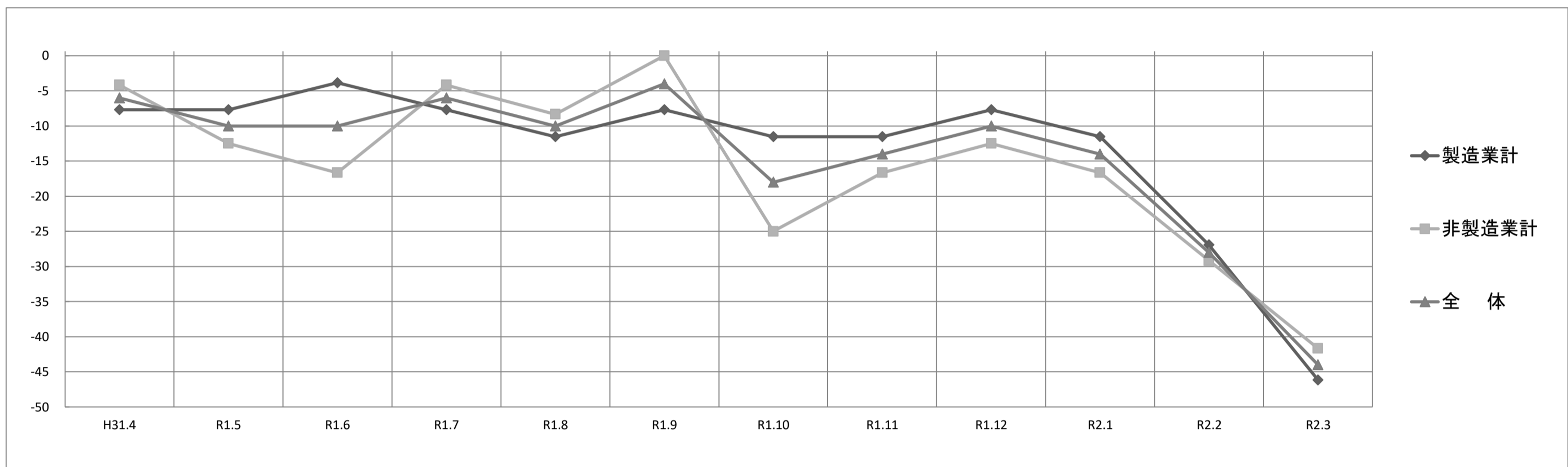


## D I 値推移表 (H31.4月 ~ R2.3月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2
卸売業	0.0	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7
全体	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3
食料品製造業	16.7	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9
サービス業	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0
建設業	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0
全体	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0

### 《景況推移グラフ》

